

「教育即生活」を起点に、新しい時代の女子教育 —東北女子短期大学—

鎌倉 ミチ子

本学は、柴田学園の母 柴田やす先生によって、わが国に短大制度が発足した昭和 25 年に開学。「生活の中に教育を生かせ」という清新な理念のもと、現代社会の求める明るく実行力のある、教養豊かな女性の育成が目標である。

～学園のあゆみ～

大正 12 年 4 月	弘前和洋裁縫女学校開校
昭和 21 年 4 月	東北女子専門学校開校
昭和 23 年 4 月	柴田女子高等学校開校
昭和 24 年 4 月	東北栄養専門学校開校
昭和 25 年 4 月	東北女子短期大学開学
昭和 29 年 4 月	柴田幼稚園開園
昭和 40 年 4 月	短期大学に保育科設置
昭和 44 年 4 月	東北女子大学開学
昭和 59 年 4 月	東北コンピュータ専門学校開校
昭和 62 年 4 月	東北(旧弘前)経理専門学校併設

1. 科の特色

被服科

次つぎ新開発される被服素材、多様化する衣料嗜好、そしてそれを支える衣料産業の個別化など、被服を取り巻く社会の変化の速さに対応すると同時に、伝統の染色・手芸そして縫製、着装といった新旧の被服知識と技術をバランスよく学ぶ機会をより多く設けている。平成 5 年に導入されたアパレル CAD は、最新技術がいち早く学生に提供された一例である。

CAD はその操作習得だけではなく、プリントアウトされた型紙を活用して洋服を製作することで、デジタルな世界と実際の不具合を体験的に学ぶことができるようにカリキュラムが構成されている。

また、CAD 装置はホームルームに設置され、いつでも自由に扱えるようにしてあるため、学生の習熟度や機器親近感は期待以上のものがある。

被服科は本学開学当初からの学科であり、長い歴史の中で培ってきた研究内容と教育の実績は、学園祭や本学学生寮(秀芝寮)での作品展を機会に展示公開され、学生が白生地から染め上げた総絞りの着物や草木染の帯、郷土の伝統技を生かした津軽こぎん、タペス



春には本学の校章である梅の花が、キャンパスを彩る

トリーなどの多くの作品は来館者から高い評価を頂いている。

二年次には日本の伝統文化に触れることを目的に京都などへ学外演習旅行に出かけ、友禅染をはじめ体験学習も行い、幅広い視野に立った被服の専門を身に付けている。

○取得できる免許・資格

中学校教諭二種免許状(家庭・保健)

衣料管理士(二級)

生活科

衣服・食物・住居から育児まで、家庭内外の生活環境をとおして、知識や技術を科学的に学ぶ科である。

草創期から教職志向が強く青森県をはじめ北海道・東北地方に多くの家庭科教育の指導の人材を送り出してきた。

入学志願者のニーズの多様化は科の構成にも影響し、現在は食物栄養コースと教職・医療秘書コースに、訪問介護員コースが加わっている。

食物栄養コースは栄養士養成が主体となっている。

栄養士の養成は制度施行から併設の東北栄養専門学校と同時に始まり、県内の施設の 8 割が卒業生で占められている。

栄養指導の専門教科に平成 3 年より導入されたコンピュータ学習では、給食管理、栄養価計算・評価などの領域で、現場を一步リードするカリキュラム編成が

なされている。また、管理栄養士受験対策として、本学教員を中心とする対策研修講座は毎年県内でも圧倒的に高い合格率で結果を出している。

平成12年度からは福祉施設に就職する学生のため、訪問介護員2級の研修講座も開設し、栄養士資格に付加価値をつける新しい試みも実施されている。

教職・医療秘書コースは中学校教員養成と同時に医療事務の資格取得が可能である。

教員免許取得者はさらに姉妹校の東北女子大学に編入し、進学した学生の殆どは教職その他の目標を達成している。また、医療事務資格の専門教科では、コンピュータによるレセプト作成はもとより、幅広い事務能力を身に付け、就職率は科全体で12年度91%である。

ワープロ検定では2年間で1級、さらに特段取得者も出るほどで、簿記・秘書検定にも力を入れている。

○取得できる免許・資格

中学校教諭二種免許状（家庭・保健）

栄養士免許状

医療管理士資格・医療管理秘書士

訪問介護員2級

保 育 科

保育士・幼稚園教諭養成科として昭和40年開設。

保育所や幼稚園での観察実習は一年次からはじめている。子どもとの信頼関係を結べる、感性のそなわった保育者の養成にあたっている。

また規定のカリキュラムに加え、コンピュータ・リテラシー、日本舞踊、邦楽（三味線・和太鼓・横笛）や「ことばと心」といった教科を設けている。

基礎技能のピアノ演奏では習熟度に応じた個別指導をするとともに、初心者には特別指導の時間を設け、学生個々の状況に応じた面倒をみている。

平成10年度から保育現場の要請も考え保育スタッフコースを設け、男子の受け入れもはじめている。

男子保育士を採用した保育園・幼稚園から女子社会の園経営に活気を与え、園児たちの行動に元気が出てきたとの評価も頂き、13年度は9名の男子入学生を迎えている。

子育てにさまざまな障害が生じている現在、健全でバランスのとれた思考ができ、子どもたちの潜在力を伸ばす保育者を育てるために、先取的カリキュラムで現場の状況に生かせる保育者養成に努めている。

このため、毎年3月末の時点で保育士関係の求人には応じ切れないのが現状である。

○取得できる免許・資格
幼稚園教諭二種免許状
保育士

2. 学生生活

学生と教職員との意思の疎通のためにクラス担任制のほか、できるだけ学生と対話する機会を設けている。

卒業時に学生は、こんなに先生方と話をすることは今までの学校生活ではなかったとってくれている。また、卒業後も何かうれしいこと、困ったことがあると学校を訪れ近況を話してくれるのはその例証であろうと思われる。

主な行事

◆学園創立記念講演

学園創立記念日の5月14日に、各方面の実力者を講師に招き講演をしていただき、学生が日常の講義と違った知的世界に接するようにしている。

◆学園総合体育大会

連休もおわり、そろそろ学校生活になじんできた時期（5月中旬）に、大学・短大・専門学校合同体育大会を開催している。

普段顔を合わせる機会が少ない別キャンパスの学生との交流の場であり、クラスの絆が深まる行事でもある。

◆ピクニック

弘前の近郊には自然豊かな山河があり、おもいおもいに弁当を広げての語り合いは普段と違う学生の側面を垣間見ることができる。

海浜や高原でのとり止めもないおしゃべりは楽しいひとときである。

◆山の家研修

津軽の名峰岩木山の百沢スキー場に隣接して学園山の家「ヴィラ柴田」が新築された。

そこで一年または二年次学生が教員と一緒に宿泊研修をする。入学後の生活や卒業後のゆめなど夜遅くまで語らい、素顔の友情をはぐくむよい機会である。

早朝の自然散策は、野山に生える野草を摘むなど学生に身心ともに新鮮な体験となるようである。

◆学園祭

伝統の文化行事で、学生が日常の成果を地域の人たちに公開する場でもある。各科の特徴を生かした発表や展示は毎年多くの来学者の好評をばくしている。

◆スキー実習

百沢スキー場で3日間のスキー実習。これまでスキ

今 家政学系大学は

一の体験がない学生も上級者も大きな歓声をあげて楽しんでいる。

各種検定

平常講義の履修によって取得できる免許・資格のほかに学外団体が主催する検定と本学独自の検定にチャレンジするよう奨めている。

・ワープロ検定

本学が開発したタイプ練習ソフト（著作権登録P第7007号-1）を活用した学生は、初心者でも1級を取得するまでになり得る。

・漢字・運針検定

本学独自の検定で、年2回の漢字検定は基礎学力の充実の一環として行われるほか、女子のたしなみとして運針検定も年1回実施している。

進路状況

過去5年間の就職率は平均98%。この春卒業の学

生もそれぞれ希望の職種に就き、頑張っているとの便りが各科に届いている。

専門職についたもの、公務員・金融関係・栄養・医療事務など多岐にわたる。

特に資格を生かして就職したものは今年度は7割を突破しており、現場の要望に応じている。

これまで1万3千余の卒業生を送り出してきた。この中には親・子・孫3代にわたって学ぶ人が多く、学園の教育の方針と成果の正しさを実感する事実であろうと思われる。

所在地：〒036-8503 青森県弘前市上瓦ヶ町 25 番地